

## 令和3年度10月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和3年10月1日（金）午前11時00分～11時40分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ9社

### 会見内容

#### 1. はじめに（1項目）

##### 1. 新型コロナウイルス感染症について

- 北海道の緊急事態宣言が本日10月1日より解除となり、段階的緩和のため「秋の再拡大防止特別対策」として、しっかりとした感染対策を1カ月間行っていくこととなっており、様々な活動を元に戻していけるように進めていきたいと考えております。
- 釧路市の公共施設の使用につきましても、一部制限があるものの通常に戻していきますので、詳細につきましては、市ホームページでご確認をいただきたいと思っております。
- また、現在、北海道からは、詳細な情報が追加で発表されております。「病床使用率」「入院率」等の指標値につきまして、道内全体のほか、医療圏域ごとに発表していただくよう北海道へ昨年からの要望しておりました。感染に関する実態・事実、正しい情報を伝えていくことが重要であると考えております。
- 引き続き、釧路市医師会をはじめとする市内医療関係者、釧路保健所の皆様と連携をしながら、ワクチン接種等を進めているところであり、改めまして感謝を申し上げます。

#### 2. 話題提供（3項目）

##### 1. 新型コロナワクチンの接種について

- 最初に、新型コロナワクチンの接種についてです。
- 新型コロナワクチンの予防接種につきましては、昨日9月30日現在「31歳から35歳までの方」への接種が行われており、本日10月1日（金）からは「26歳から30歳までの方」の予約が開始となりました。
- 昨日9月30日までのワクチン接種状況は、12歳以上の市民、約15万2千200人のうち、1回目の接種を終えた方は、約102,900人、接種率約67.6%、2回目の接種を終えた方は、約88,200人、接種率約58.0%、となっており、全国平均並みの接種状況となっております。
- 接種体制を、このような形の中で進めていただいているのは、地元の医師会をはじめ、皆様方のご協力によるものであります。
- また、9月13日に開設されましたフィッシャーマンズワープ MOO 5階多目的アリーナの特設会場では、9月30日までに、約6,100の方が接種されました。

- 今後、「25歳以下の方」につきましても、順次、接種を開始する予定です。
- この他に、高校3年生を対象に、受験や就職活動などに安心して臨んでもらえるよう、9月30日から接種を開始しております。
- このような体制の中で、しっかりと感染対策を行い、様々な活動を再開できるように進めていきたいと考えております。

## 2. 飲食店における感染防止対策の認証制度について

- 続いて、北海道が実施する飲食店における感染防止対策認証制度についてです。
- 9月24日、道議会の議論の中で、「飲食店における感染防止対策の認証制度」を、道内すべての地域において導入する方針を示しました。
- 現在、札幌市のみにおいて、実施されているところであります。
- 本制度は、現段階では、様々な協力金の対象となっており、長期的には、しっかりと対策をとっている証明として、信頼に繋がるものであり、飲食店を安心してご利用いただくための、環境作りにも繋がります。
- 今後、本制度の全道各地への広がりを見極めつつ、同時に対策を行うことが大切であると考えております。
- 本制度には、28のチェック項目があります。外部の審査であることから、マニュアルが必要であることは理解いたしますが、基本項目として、手洗い、手指消毒、マスク着用、換気が大きなグループとなっております。若干、重複しているところもあることから、わかりやすくするように、道議会にもお願いしております。
- 今後、情報を取りながら、順次、飲食店、関係者の皆さんに示していきたいと考えております。
- その中で、夏以降、換気について、注視されております。これから、寒くなる中での換気の方法が課題となってきます。
- 市といたしましても、感染拡大防止対策の一環として、二酸化炭素濃度測定器の購入経費の9割補助を行う「釧路市飲食店感染防止対策支援補助金」を設けておりますので、ご活用いただきたいと思います。
- また、市内歓楽街への誘客を促進するイベント等の支援といたしまして、「釧路市歓楽街サポート補助金」の2次募集を10月5日（火）から開始する予定ですので、準備が整い次第、プレスリリースを通してお知らせいたします。

### 3. 釧路市女性活躍推進つながりサポート事業について

- 最後に、釧路市女性活躍推進つながりサポート事業についてです。
- 本事業は、内閣府の「地域女性活躍推進交付金」を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、困難や不安を抱える女性を支援するため、相談支援や居場所づくりなどの事業と、生理用品の無料配布を行うもので、本日10月1日（金）から開始しております。
- 相談支援では、LINEやメール、電話でご相談いただけるほか、カウンセラーによる専門相談や、悩みをお話しできる場所として、居場所づくり事業を実施いたします。
- 本事業の詳細につきましては、市ホームページおよび業務委託先が運営するホームページでお知らせしておりますので、ご利用いただきたいと思います。

### 3. 質疑要旨

(質問)

- ・ 受験や就職活動で、高校3年生へのワクチン接種を優先しておりますが、中学生に広げる考えはありますか。

(市長)

- ・ 今後の受験シーズンのスケジュール等を確認しながら、教育委員会と相談して決めたものであります。中学3年生の受験時期は道立高校で3月の初旬頃、私立高校は2月に入ってからとなっております。ワクチンの有効期間は、4～6カ月間といわれており、また、2回目の接種を終えて、1週間ぐらいで九十数%の予防効果が出てくるということで、11月中に全世代で希望する方のワクチン接種が終わりますので、中学校の皆様につきましては、既存のスケジュールの中で進めていこうということです。高校3年生については、大学等の推薦入学や就職試験等が11月から始まるものもあると伺ったところであり、ワクチン接種を先に行っていくこととなりました。

(質問)

- ・ 今後、中学生に接種を進める時に、学校での接種を検討されておりますでしょうか。

(市長)

- ・ 今のところ、学校の中での接種については、議論としてあがっていないところで、大規模集団接種会場並びに各クリニック、医療機関の中で接種を行っていくという形です。昔ながらの学校の中での集団接種という形ではなく、希望する方が、しっかりと接種を受けられる形だと考えております。

(質問)

- ・ 今後のワクチンの接種日程が、「12歳～20歳の方」というように一括りになっておりますが、以前、「12歳～16歳の方」と「17歳～20歳の方」が分かれていたと思います。こちらを一緒にした理由について教えてください。

(こども保健部次長)

- ・ 世代として区切ると、今までは5,000人程度の範囲で順次、受付を開始していたところですが、「12歳～20歳の方」の世代が、6,000～7,000人ぐらいですので、できるだけ早めに接種をしていただきたいと思いますということもあり、予定を前倒しいたしました。

(質問)

- ・ 12歳の方は、満年齢に達した方となっており、基本的には、中学1年生以降であると思いますが、小学生で11月・12月以降に12歳となる方については、接種対象となるのでしょうか。

(こども保健部次長)

- ・ 誕生日の前日にワクチンの接種が可能となります。12歳の方については、誕生日が来る辺りに、こちらの方からお知らせの文書をお送りし、接種をできるようにと考えております。

(質問)

- ・ 受験と就職活動を控えている高校3年生のワクチン接種に関して、前倒しで接種する方は、何人ぐらいいるのでしょうか。

(健康推進課課長補佐)

- ・ 昨日9月30日現在で、市内の高校3年生約1,400人のうち、ご予約いただいている数は、580人ぐらいとなっております。

(質問)

- ・ 10月8日からは、普通のスケジュールで高校生は接種を受けられると思うのですが、前倒しで接種する期間としては、9月30日から10月7日までとなるのでしょうか。

(市長)

- ・ 受け付けが、そのような形で前倒ししてできるということでありまして、その後は接種ができないという訳ではありません。

(質問)

- ・ ワクチン接種を希望される方への接種完了時期は、これまで11月末ということでしたが、変更はないのでしょうか。また、インフルエンザの予防接種も始まるということですが、各医療機関に対して、インフルエンザの予防接種を優先して欲しい、コロナのワクチン接種を優先して欲しいといった優先度合等の指示を出しているのでしょうか。

(市長)

- ・ 希望される方への新型コロナワクチン接種については、11月末までに完了できる体制をとっているところです。今後、希望される方がどのぐらいいらっしゃるのかということはありません。65歳以上の方への接種の時も80%ぐらいの方が希望されると想定しておりましたが、実際はそれよりも多くの接種希望者がおりました。現在のところは、順調に進んでおりますので、11月末に完了する予定で、その点についての変更はありません。続いて、インフルエンザの予防接種とコロナワクチンの関係については、医療機関の方のお話でありまして、私どもは、どちらかを優先しましょうという形ではなく、ワクチン接種は、基本的には、市民個人が希望して行っていく形になっております。新型コロナワクチンの接種体制を、しっかりと整備していることと、あわせて、インフルエンザの対応等は、並行して進んでいることとありますので、どちらを優先するというのを私どもの方からお話することは、今のところはない状況です。

(質問)

- ・ ワクチン接種は、11月末で終了予定ということですが、その後も来年2月までは、受付・接種を行ってくれるのでしょうか。

(市長)

- ・ ワクチンの接種体制につきましては、医師会の協力をいただきながら、それぞれの病院やクリニックで行っていただくほか、市役所防災庁舎並びにMOOで集団接種を行っており、11月末までに希望される方への接種を終わらせるという形で進めております。そこから先、来年2月末までにつきましては、各医療機関の通常の体制で接種を継続して行っていくものと考えております。MOOや市役所防災庁舎での集団接種につきましては、11月末までと考えております。

(質問)

- ・ 飲食店における認証制度の件ですが、知事が全道に広げるという話をしておりましたが、釧路の場合は、緊急事態宣言が解除されると営業時間等も通常どおりに戻る訳ですので、実際に本認証制度がどのようなところにメリットがあるのかわかりづらいと思います。釧路では、飲食店の方々が申請をしなくてもいいと考えてしまうのではないかと思うのですが、どのように周知をしていこうとお考えでしょうか。

(市長)

- ・ 現段階では、協力金との関係の認証制度という側面が一つありますが、我々が取り組んでいくものは、飲食店が感染防止対策をしっかりと行っているという、飲食店側の信頼についてであります。そこが同時に存在しておりますので、わかりづらくなっていると思っております。そこで、本認証制度については、これからお客様がお店に安心して入ることができる、そして、それぞれのお店の信頼に繋がってくるということ、説明していく必要があると思っております。本認証制度のチェック項目が28項目あることについて、妥当な数であるものなのか、道議会議員の方々にお話をさせていただいております。重複する内容の項目や基本的な項目もあり、外部のチェックをするために、マニュアルとして項目の数が多の方がよいという考え方もありますが、全道の他地域を色々と見ていったところ、本当に様々な状況があります。これらの項目の取り組みの必要性や取り組みやすさを見ていきますと、どのぐらいの飲食店が参加するのかということがありますので、ぜひ、今回の道議会の中でも議論いただきたいというお話をさせていただいており、その推移を見ていきたいと思っております。その上で、今まで行ってきた感染防止対策の中で、一つの課題となるのが換気であります。どのようなタイミングで換気を行うのかは、時間やお客様の人数によって、様々なケースがあります。換気のタイミングの目安としては、二酸化炭素濃度測定器があることによって、数値を確認しながら換気を行うことができますので、このことが飲食店の信頼に繋がっていきます。現在は、目的が2つ繋がっている状況ではありますが、私どもは協力金ではなく、飲食店の信頼について重点を置いて、PRをしていこうと考えております。

(質問)

- ・ 女性活躍推進つながりサポート事業について、生理用ナプキンの無料配布に係る引換券は、ホームページ等に載っているのですか。

(男女平等参画主幹)

- ・ ホームページ等には載っておりませんが、順次、病院のトイレや薬局、また公

共施設等に、名刺サイズの大きさの引換券カードを設置し、お配りしたいと考えております。こちらの引換券カードが無くても、生理用品を設置している窓口で、引換券カードは置いてありますので、予めお持ちいただくことなく、窓口にお越しいただいても、お渡しすることができます。

(質問)

- ・ 一人につき何回まで、また、一回につきいくつまでといった制限はあるのでしょうか。

(男女平等参画主幹)

- ・ 特に制限しておりませんので、ご家族の分というご希望がありましたら、2セットをお渡しするといったことも考えております。

(質問)

- ・ 配布場所は、何カ所になるのでしょうか。

(男女平等参画主幹)

- ・ 本日、設置しているのは、市役所本庁舎・防災庁舎の関係課窓口と、男女平等参画センターふらっととなっており、今後、順次、公共施設等に設置していく予定です。

(質問)

- ・ 人を介すると、生理用品をもらいづらいという声もあることから、例えば、学生向けとして、大学の構内のトイレに設置するようなお考えはありますでしょうか。

(男女平等参画主幹)

- ・ 現状では、生理用品を受け取りに来ていただいた際に、一緒に困りごとの相談ができるような場所での配布を考えておりますので、トイレ等への設置は、検討しておりません。

(質問)

- ・ 道東中心に、赤潮の被害が発生しておりますが、今、把握されている範囲で、釧路市内の状況と、市の対応状況を教えてください。

(市長)

- ・ 赤潮が道東地域で発生しているということで、本当に大きなダメージを受けております。このたびの影響では、サケの被害もありますが、ウニについても死滅している状況になっておりまして、現在、詳細な状況や被害額も含め、確認を進めており、どのような対応をとっていくのかについて、北海道と連携をとりながら進めているところです。釧路市内の釧路市漁協と釧路市東部漁協の両漁協だけでも、おおよその被害額で2億円弱という想定がされております。あわせて、ウニの場合は死滅いたしますと、これから3年程漁獲できなくなるということです。つまり今年、単年度だけではなく、来年、再来年といった3年ぐらい影響があるということで、大変大きな被害になっている状況であります。また、浜中町、厚岸町、釧路町、釧路市、白糠町、そして十勝、日高も入った広範囲にわたる被害ということで、しっかりと対策を講じていかなければならないことから、各地と連携を取りながら、道と相談も行い、国に要請していく等の動きを、現在、行っているところです。

(質問)

- ・ 感染状況については、落ち着いてきておりますが、以前、お話をしていた多床室の療養施設の件は、どのようなになっているのか教えてください。

(市長)

- 多床室の療養施設につきましては、北海道に要請しているところではありますが、まだ、具体のお話は来ていない状況です。道議会議員の方々からは、今回の議会終了後、医療体制の充実等に向けて、北海道が様々な地域と意見交換を行っていく予定であるということをお伺いしております。こちらの療養施設は、必ず必要になるものと思っております。我々が多床室の療養施設というお話をしたのは、基本的にワクチン接種の時も、医師の確保は非常に難しい状況であり、医療体制を増やすということは、非常に困難となります。新型コロナウイルス感染症の変異株等を踏まえて、体調が急変する可能性があった時に、隔離ということでホテル等に入った場合に、個別に一人である訳ですので、そのような状況を踏まえたと、多床室で全体を見渡せるような場所の中で、体調の急変等に対応することが望ましいということになります。これから、どのような展開になってくるかということもありますが、ウイルスは無くならない訳ですので、このタイミングで準備をしていくことが望ましいと要請させていただいておりますので、しっかりとお話をしていきたいと思っております。

(質問)

- 本日から日本製紙釧路工場が、「日本製紙釧路エネルギー」になりましたが、今後、どのようなになっていくか、お聞きしたい。

(市長)

- 日本製紙釧路工場については、市民憲章にも明記されております、生産都市・釧路市の誇りとして釧路の発展を支えてきた基幹産業の一つの柱であり、100年の歴史に感謝をしたいと思います。その上で、変遷する社会・時代の中で、産業構造の転換を図りきることができなかったということは、無念という思いであります。今後につきましては、広大な工場の跡地が市街地の中に残っていくことは、まちづくりにとっては、大きなマイナスであるということで、その跡地利用について、計画を策定していただきたいというお話をしているところです。9月の閉鎖、そして10月からは、その対応に向けて、しっかりと加速していくというお話も会社側からいただいているところでもありますので、私どもも連携し、進めていきたいと考えているところでもあります。